

第1学年 生活科学習指導案

1 単元名 なつとなかよし ～おもしろいあそびがいっぱい～

2 単元について

(1) 学習指導要領から

本単元は、生活科の内容（5）（6）とかかわりのあるものである。その中でも特に、

（6）身近な自然を利用したり、身近にある物を使ったりするなどして遊ぶ活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくることができ、その面白さや自然の不思議さに気付くとともに、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとする。

という内容と深くかかわっている。

ここでは、思いや願いをもって、友達とかかわり合いながら、身近な自然や物を使った遊びを創り出していくことが主な活動である。自然の不思議さ、工夫してつくることの面白さや楽しさに気付くとともに、自分の思いや願いが実現する満足感を得たり、友達のよさや自分自身の心の変容などに気付いたりすることも目指している。

子どもたちは、自分の思いや願いをもとに、材料や場を選び、試行錯誤を繰り返しながら、遊び自体を工夫したり、遊びに使う物を工夫してつくったりして考えを巡らせる。遊びはそれ自体が楽しいことであるが、そこに友達とのかかわりがあるとさらに楽しいものになる。友達とかかわり合いながら活動することで、友達のよさだけではなく、自分自身のよさや成長への気付きにもつながっていくだろう。身近な物を使った遊びを創り出していく活動を通して、気付いたことや発見したことを互いに認め合うことで、工夫したり試したりする面白さや、発見したことを伝えたり認められたりする喜びを味わわせたい。

(2) 単元の目標

身近な物を使って遊んだり、遊びに使う物や遊び自体を工夫したりする楽しさや面白さを実感するとともに、友達と楽しくかかわり合いながら、夏の遊びを楽しむことができる。

(3) 単元の評価基準

知識及び技能の基礎	思考力、判断力、表現力等の基礎	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none">遊びを創り出す面白さに気付き、遊びや遊びに使う物を工夫している。友達とかかわって遊ぶ楽しさ、友達や自分のよさに気付いている。	<ul style="list-style-type: none">気付いたことを基に、見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫する活動を通して、創造的に考えている。工夫してつくったり、友達とかかわって遊んだりしたことを振り返り、自分なりの方法で表している。	<ul style="list-style-type: none">体全体を使って、身近な自然と触れ合ったり、思いや願いをもって自然とかかわったりしようとしている。身近な自然や物を使って、意欲的に遊びや遊びに使う物をつくろうとしている。

(4) 本単元の学習活動の流れ

①単元構想

〈子どもの思いや願い〉

最近よく雨が降っているね。
雨の日も外で遊びたいな。



身の回りにあるものを使って、いろいろな遊び道具をつくりたいな。



夏が近づいてきて暑くなってきたね。
みんなで楽しく水遊びがしたいな。

なつとなかよし

○校庭や公園など、身の回りの様子から夏を見つける。②

雨や砂とあそぼう

- 雨降り探検に行く。①
- 砂場で遊ぶ。②

〈期待する姿〉

- ・雨の日に関心を持ち、雨の日の特徴を捉え、楽しもうとしている。
- ・晴れの日とは異なる校庭や砂場の様子の違いを見つけている。
- ・砂や水の特性に気付き、思いや願いをもって活動している。

〈手立て〉

- ・日常生活の中でも雨を話題にするなど季節の変化に目を向けさせ、興味関心を高める。
- ・砂場で十分に活動する時間をとり、水があることにより砂遊びの幅が広がることを実感できるようにする。

水を使ってあそぼう

- 水を使った遊びを考える。①
- 水鉄砲で遊びを工夫して楽しむ。②
- 船をつくって遊ぶ。③

〈期待する姿〉

- ・より遠くへ飛ばせるように、水鉄砲を工夫して作り、遊びを楽しんでいる。
- ・思いや願いをもって、船づくりに取り組み、遊びを楽しんでいる。
- ・比べたり、試したり、見立てたりして、工夫して取り組んでいる。

〈手立て〉

- ・試行する時間を多めに取り、じっくり対象に向き合うことができるようにする。
- ・友達とかかわりながらついたり遊んだりできるような場を、子どもと一緒に工夫する。

シャボン玉であそぼう

- 使う道具を工夫してシャボン玉で遊ぶ。②

〈期待する姿〉

- ・つくってみたいシャボン玉のイメージを膨らませている。
- ・イメージしているシャボン玉をつくるために、使う道具を工夫している。
- ・シャボン玉の不思議さや面白さに気付いている。

〈手立て〉

- ・予想を立てながら道具をつくることができるように、設計図を書いて見通しをもってから活動する。
- ・遊んで気付いたことや発見したことを全体で共有する時間をとる。

なつはたのいいことがいっぱい

- これまで遊んだ夏の遊びを振り返る。①
- これまでつくった道具を使って、水位を低くしたプールで遊ぶ。①

〈期待する姿〉

- ・これまでついたり遊んだりした夏の遊びを想起している。
- ・楽しかったことや不思議に思ったことを自分なりに表現している。
- ・つくった道具を使ってプールで遊び、夏の楽しさや面白さを改めて実感している。

〈手立て〉

- ・活動の記録を写真とともに掲示しておく。
- ・より活発に活動できるように、プールの水位を低くして活動する。
- ・子ども達を感じたことを表現しやすいうように、振り返りシートを工夫する。

②単元の流れ（全15時間）

学習内容（◎）	評価の視点（・）	○手立て
◎校庭や近くの公園へ出かける。 ②	・校庭や公園で身近な夏を探したり、感じたりしている。〈行動・発言〉【主体的な態度】	○夏の生き物を見つけるだけではなく、遊具を触ったときの感触やのどが渇くなど、五感を使って夏を感じ取れるようにする。
◎雨の日に校庭に出て探検をする。①	・季節の変化に目を向け、関心を持っている。〈発言・ワークシート〉【主体的な態度】 ・探検で気付いたことを自分なりの言葉で表している。〈行動・発表〉【思・判・表】	○日常生活の中でも雨を話題にするなど季節の変化に目を向けさせ、興味関心を高める。 ○晴れの日の校庭の写真を掲示しておき、比較しやすいようにする。
◎砂場で遊ぶ。②	・思いや願いをもって、砂遊びを楽しんでいる。〈発言・表情・ワークシート〉【主体的な態度】 ・活動を通して楽しかったことや、工夫したことなどを自分なりの言葉や絵で伝えている。〈行動・発表〉【思・判・表】 ・水、砂の面白さや不思議さ、友達とのかかわり合いの楽しさに気付いている。〈発言・行動〉【知・技】	○十分に砂場で活動する時間を設ける。 ○砂を触った時の感触や、水を混ぜた時の砂の変化に目を向けられるように声を掛ける。 ○水を流す、混ぜる、飛ばす、水に浮かべる等の活動の楽しさを十分に味わえるよう、いろいろな活動を認めていく。
◎水を使った遊びを考える。①	・夏の経験や自分の生活を思い出しながら、身近な自然や物を使った遊びや遊びに使う物を考えている。〈発言・ワークシート〉【主体的な態度】	○材料は自分たちで集められるように、身の回りの物を使う。 ○作ったものでどのように遊びたいのかについても想像を膨らませ、学習の見通しが持てるようにする。
◎水鉄砲で遊びを工夫して楽しむ。②	・思いや願いをもって遊びを楽しんでいる。〈発言・表情・ワークシート〉【主体的な態度】 ・より遠くまで水を飛ばすために創造的に考えている。〈行動・発表〉【思・判・表】 ・活動を通して楽しかったことや、工夫したことなどを自分なりの言葉や絵で伝えている。〈行動・発表〉【思・判・表】	○もっと遠くまで飛ばしたい、もっと楽しくしたいという思いや願いを実現させるにはどうすればよいかを考えさせることで、工夫の視点に目を向けさせる。（穴の数や大きさ、入れ物の素材、大きさ、押し方、遊び方等） ○楽しく遊ぶために、水を使う時の約束を確認する。 ○はっけんカードではアイデアを形にして目に見えるようにしたり、がんばったよカードでは子どもたちのがんばりを認めたりする。 ○友達と楽しく遊んだり競争したりできるような場を工夫する。
◎船を工夫してつくって楽しく遊ぶ。③ 【本時】	・思いや願いをもって船づくりを楽しんでいる。〈発言・表情・ワークシート〉【主体的な態度】	○多様な子どものあそびを引き出すために、様々な場を用意する。 ○つくって試してを繰り返し、その都度改良や改善をしながら活

<p>◎使う道具を工夫してシャボン玉で楽しく遊ぶ。②</p> <p>◎これまで遊んだ夏の遊びを振り返る。①</p> <p>◎これまでつくった道具を使って、水位を低くしたプールで遊ぶ。①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比べたり、試したり、見立てたりして船を工夫している。〈行動・発表〉【思・判・表】 ・活動を通して楽しかったことや、工夫したことなどを自分なりの言葉や絵で伝えている。〈行動・発表〉【思・判・表】 ・友達とかかわって遊ぶ楽しさ、友達のよさや自分との違いに気付いている。〈発言・行動・ワークシート〉【知・技】 ・自然を感じたり、友達と一緒に楽しんだりしている。〈発言・行動〉【主体的な態度】 ・どんなシャボン玉をつくりたいかイメージをもちながら活動している。〈発言・表情・行動〉【主体的な態度】 ・活動を通して気付いたことを、自分なりの方法で表している。〈発表・ワークシート〉【思・判・表】 ・イメージしているシャボン玉をつくるために、使う道具を工夫している。〈行動〉【知・技】 ・なつとなかよしで楽しかったことを自分なりの言葉や絵で伝えている。〈発表の様子〉【思・判・表】 ・身の回りにある物を使って、楽しく遊べることに気付く。〈発表・ワークシート〉【知・技】 ・友達とかかわって遊ぶ楽しさ、友達や自分のよさ気付いている。〈発表・行動・ワークシート〉【知・技】 ・つくった道具を使ってプールで遊び、夏を楽しんでいる。〈行動・発言〉【主体的な態度】 ・友達とかかわりながら、楽しく遊んでいる。〈行動〉【知・技】 	<p>動できる場を保障する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はっけんカードではアイデアを形にして目に見えるようにしたり、がんばったよカードでは子どもたちのがんばりを認めたりする。 ○振り返りの時間を設け、船をつくるために工夫してよかったことや、友達とのかかわりあいの中で楽しかったことなどをワークシートにまとめる。 ○作りたいシャボン玉のイメージを膨らませるために、絵や言葉で表してから活動に取り組む。 ○設計図を書いたり予想を立てたりするなどして、見通しを持って活動できるようにする。 ○失敗しながら考え、繰り返し工夫をしている姿を称賛することで、気付きを促していく。 ○活動を通して気付いたことや発見したことを全体で共有する。 ○これまでのワークシートを振り返ったり、活動の様子を掲示にまとめたものを見せたりして、想起しやすいようにする。 ○どんなことが楽しかったのか、心に残っているのかワークシートに絵と共にまとめる。 ○これまでの気付きや発見を全体で共有する時間を設ける。 ○これまでは、なかなかできなかったような遊びができる場を設定する。 ○安全面を考慮して、これまでのように試してつくる場は設けず、遊ぶ場のみにする。 ○プールでの約束をしっかり守って活動できるように声を掛ける。
--	--	--

3 部会研究課題とのかかわり

研究課題（1）具体的な体験や活動を通して、低学年らしい思考や認識を生かし、次の活動へとつなげる学習活動を実践する。

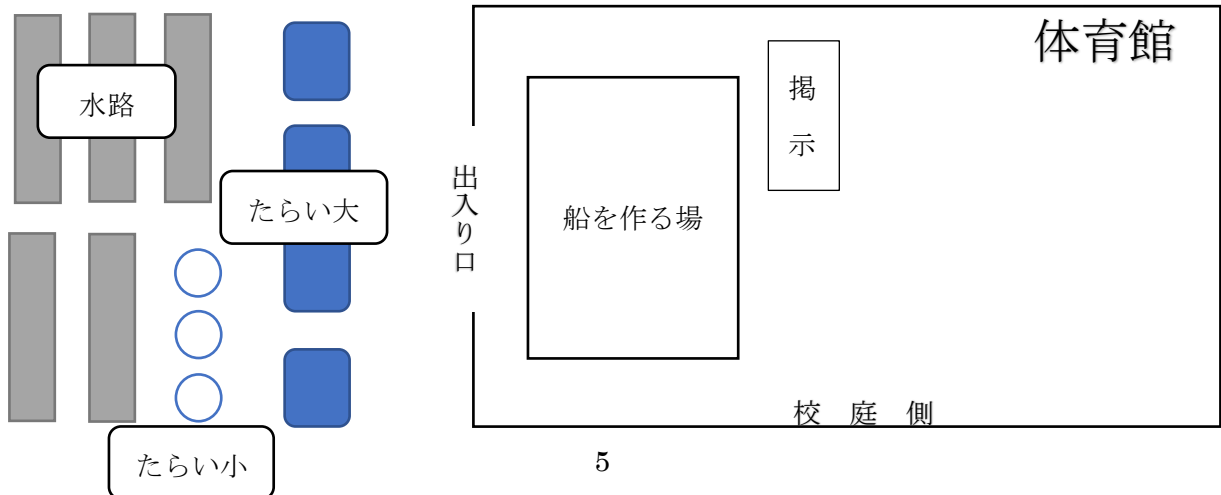
○工夫したことや気付いたことを表現し、生かす場の工夫

活動する中で、工夫してよかったこと・成功や失敗を通して得られた気づきを、共有したり伝えあったりすることは、活動の質を高めていくために有効であると考えます。そこで、本単元では子どもの新たな発見や気づきを「はっけんカード」、「がんばったよカード」として目に見える形に変え、掲示できるスペースをつくることにしました。「はっけんカード」は、活動中も自由に見ることができる場所に設置し、子どもたちが自分の思いや願いに向かって工夫して船を作るために、いつでも活用できるようにする。「がんばったよカード」は、掲示を積み重ねることで、どんなに小さな発見や気づきでもそこに価値があることを認め、より主体的な次への活動を促すために活用していく。加えて、学習の見直しを持つ場面や学習の振り返りを行う場面でも、2つのカードを活用しながら子どもとのやり取りをして進めていきたい。

○子どもの多様なあそびを引き出す場の工夫

本時では、船を動かす動力を自然の力だけに絞り、船づくりを進めていく。つくった船を外で水に浮かべる活動を通して、自然の風や波で船が進む経験をさせたい。そうすることで、風や波が船を動かす動力になることに気づき、より風や波を動力に変えるための工夫を考えるのではないだろうかと考えた。屋外で活動することで、より自然の力を感じたり楽しんだりしながら、活動することができるだろう。さらに、広々とした開放的な空間で活動することで、子ども同士のかかわり合いや活動の幅を広げることができる。場を広く持つことは、友達の活動を見て真似てみたり、友達と一緒に新たな活動を生み出したりするなど、次の活動へ発展しやすいと考えた。

また、船を浮かべる場も、長い水路型の場と円形のたらいの場の2種類を用意する。長い水路型の場では、船を前進させたり、競争させたりすることができる。たらいの場は大きいものと小さい場を設ける。そこでは、自由に船を浮かべ、様々な動きをする船で遊んだり、試しながら作ったりする活動を活発に行うことができるだろう。その中で、自然に子どもたちは友達とかわりあいながら、さらに次の遊びを見つけたり試したりするのではないだろうか。このように、いろいろな場を設けることで、多様な子どもの遊びを引き出すことができると考えた。



研究課題（3）自分自身や自分の生活について考え、新たな気づきを生み出す「身近な生活に関わる見方・考え方」を育む生活科を实践する。

○子どもの思いや願いを支える材料の確保と精選

ものづくりや遊びの場面において、活動を子どもたちそれぞれの思いや願いに近づけるために、より豊富な材料を確保する必要がある。そうすることで、より楽しく遊ぶためにはどうしたらよいか自分なりに考え、子どもたちはいろいろな材料を試し、比べながら使用する材料を決定していくだろう。その過程の中で、船をつくるのに向いている材料と向いていない材料があることや、水に浮くものと浮かないものがあることなど、新たな気づきが生まれるだろうと考えた。

さらに、本単元では使う材料を、身近な物に制限をする。それは、材料の幅が大きすぎてしまうと、精選するのに時間を要すことに加え、活動後に自分の生活に気づきや学びが生かされにくいのではないかと考えたからである。材料を身近なものとするすることで、活動を通して得た気づきや学びが実生活につながりやすくなる。例えば、活動のなかで、これまでは飲み終えたら捨てていたペットボトルや牛乳パックが、少し工夫をすることによって楽しい遊び道具に変わる経験をする。それまでは捨てて当たり前だったものが、考えて工夫を施すことで変化するという経験を積み重ねていく。この経験の積み重ねにより、子どもたちの物を見る目が変化していく。そういった目を養いながら、より自分自身の生活を豊かにしようとする姿勢を育てていきたい。

○子どもたちの気づきや発見を自覚させたり広めたりできる声掛けの工夫


低学年の特徴として、思っていることや感じていることはたくさんあっても、それを上手に言葉で表現することが難しいことが挙げられる。そのため、自分の気づきを自覚できないまま活動を終わってしまうことが多い。そこで、その子がどんな思いでその船を作ったのか、その子なりに頑張ったのはどこなのかなどを問いながら、子どもたちと活動を進めていく。やり取りを活発に行うことで、子どもたちが自身の発見や頑張りを自覚し、自他ともに少しでも認めることができるのではないかと考えた。

4 本時の学習

(1) 本時の目標

○身近な材料や道具を使い、工夫してつくった船で楽しく遊ぶ。

(2) 展開 (10 / 15)

学習活動と内容	教師の支援 (○) と評価 (☆)
<p>1 前時の活動を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペットボトルを使って船をつくったよ。 ・うまくいなくて水に沈んでしまったよ。 ・○○ちゃんの船は、風で進んでいたよ。 ・○○くんと競争して勝ったよ。 	<p>○前時の活動で、試してみてよかった点や、困った点について振り返る。</p> <p>○「はっけんカード」、「がんばったよカード」を掲示し、みんなが活用できるようにする。</p>
<p>くふうしてつくったふねで、もっとたのしくあそぼう。</p>	
<p>2 本時のめあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっと早く進む船をつくって、競争で勝ちたいな。 ・物を乗せて運べる船をつくるために、トレイを使ってみようかな。 ・「はっけんカード」、「がんばったよカード」の○○ちゃんの良いアイデアがいいな。 	<p>○全体で確認できるようにめあてを前方に掲示する。</p> <p>○もっと楽しく遊ぶための工夫を考える時間を取る。</p> <p>○どんな工夫をしようか迷っている子どもには、「はっけんカード」、「がんばったよ」カードを活用したり、友達に聞いたりしながら進めてよいことを伝える。</p>
<p>3 各自で船づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水に浮かばなかったから、使う材料を変えてみようかな。 ・○○くんの「はっけんカード」、「がんばったよカード」いいな、教えてもらおうかな。 ・1回水に浮かべて試してみよう。 ・荷物は乗ったけれど前に進まない、どうしたら前に進むのかな。 	<p>○船の改良をする場と、水に浮かべて試す場を設け、それぞれの場を行き来できるようにする。</p> <p>○2つの場での約束を確認し、安全に配慮する。</p> <p>○工夫をすることに難しさを抱えている子どもには、掲示してある「はっけんカード」のよいところや真似できそうなところを見つけ、活用するよう助言する。</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="145 1682 453 1854" style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 40%;"> <p>もっと早く進むように、トレイで帆を作ってみようかな。</p> </div> <div data-bbox="480 1659 759 1839" style="border: 1px solid gray; border-radius: 50%; padding: 10px; width: 40%;"> <p>友達とスピードバトルをして楽しかったよ。</p> </div> </div> <div data-bbox="316 1854 507 2033" style="text-align: center;">  </div>	<p>☆身近な材料や道具を使って、課題に沿った船をつくるために工夫している。(思・判・表)</p> <p>☆思いや願いをもって、意欲的に船をつくろうとしている。(主体的な態度)</p>

<p>4 楽しかったことや工夫したこと、発見したこと、困ったことなどを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・材料を変えて、のみものの容器を使ったら、荷物を乗せても浮かぶ船をつくることができたよ。 ・風の力を使って進むために、帆を張ったら前に進んだよ。 ・うちわのいろいろなあおぎ方を試して、船が速く進むあおぎ方を発見したよ。 ・「はっけんカード」の友達にお願いして、前に進む船について教えてもらえて嬉しかったよ。 ・牛乳パックにペットボトルを付けたら、ぶつかっても壊れない強い船をつくることができたよ。 ・なかなか進む船がつかれなくて困ったよ。 	<p>○活動を振り返って、工夫したことや発見したことなどを共有し、気づきを広めるようにする。</p> <p>○困ったことがある子どもには、「はっけんカード」、「がんばったよカード」のアイデアの中に、役立ちそうなものはないか考えながら見るように伝える。</p> <p>☆活動や発表を通して、友達や自分のよさに気づくことができる。(知・技)</p>
<p>5 振り返りカードを書き、次回の活動へのつながりを持てるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・風で進むように、トレイで帆を作ったらぐんぐん進んだよ。 ・友達に「はっけんカード」で教えてもらえて、もっと丈夫な船になったよ。 ・新しい「がんばったよ」カードが書けそう。 ・帆がうまくできなかつたから、次はがんばりたいな。 	<p>○今日の活動について、①楽しくできたか、②自分なりの発見や気づきがあったか、③友達とかかわることができたか、の3点を振り返る。</p> <p>○まだすらすらと自分の思いを書くことができない子どもも多いので、いくつかの選択肢から選んで丸を付けられるような形式の振り返りカードを使う。</p> <p>○次時では、本時の活動を踏まえて改善したり改良したりして楽しめるように、できるだけ振り返りの時間を十分に確保する。</p>
<p>6 後片付けをする。</p>	<p>○床に落ちているごみを拾ったり、用具の片づけをしたりする。</p>